

平成26年度第4回県政参画電子アンケート
『手話に関する意識調査』調査結果

1 調査概要

- ・テーマ：手話に関する意識調査
- ・期間：平成26年6月12日(木) ～ 6月25日(水) 17:00まで
- ・対象：県政参画電子アンケート会員
- ・回答：402名/476名(84.5%) (※回答者数は重複回答者除く)

2 アンケートの調査目的

<調査目的>

鳥取県では、昨年10月に成立した鳥取県手話言語条例に基づき、総合的・計画的に手話の普及、手話が使いやすい環境整備を進めるため、10年後の鳥取県が目指すべき方向性を示す「鳥取県手話施策推進計画」を策定することにしました。

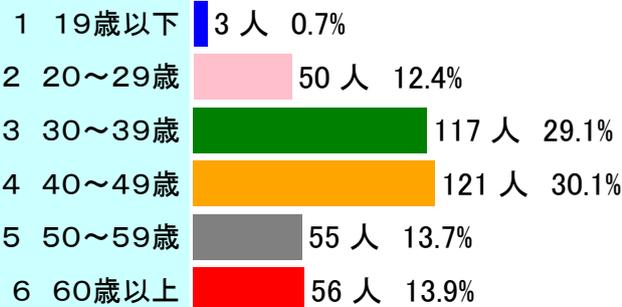
この計画案の検討に当たっては、ろう者、手話通訳者等の意見・経験談、県民の手話に対する認識などを考慮して、より効果的な計画を策定したいと考えています。

このアンケートは、県民の皆さんの手話に対する認識を把握するために実施するものです。

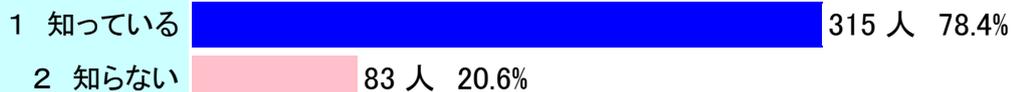
(問1)あなたの性別を教えてください。



(問2)あなたの年齢をお答えください。



(問3)鳥取県で「鳥取県手話言語条例」が制定されたことを知っていますか。



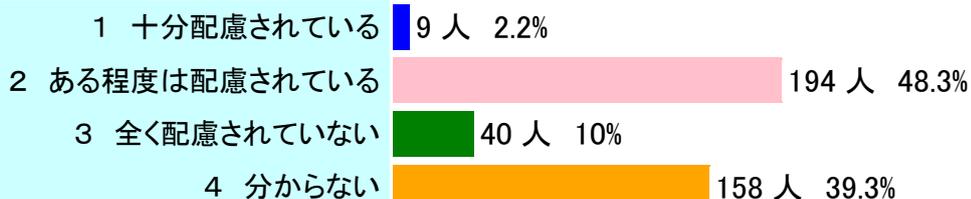
(問4)手話言語条例制定後、手話・ろう者(聴覚障がい者のうち手話を言語として使用する方)への興味・関心は高まりましたか。



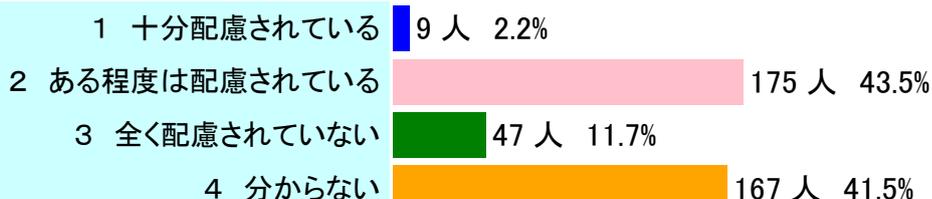
<問5>

ろう者に対してコミュニケーション上の配慮(手話、筆談、字幕など音声以外のコミュニケーション対応)があると感じていますか。次の場面別に回答してください。

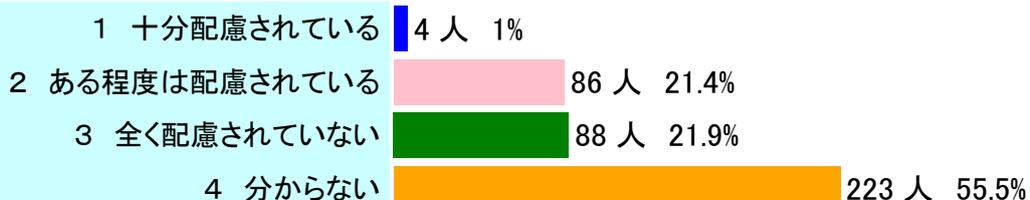
(問5-1) 県・市町村などの窓口



(問5-2) 医療・介護分野(病院、介護施設など)



(問5-3) 防災分野(緊急時の情報伝達など)



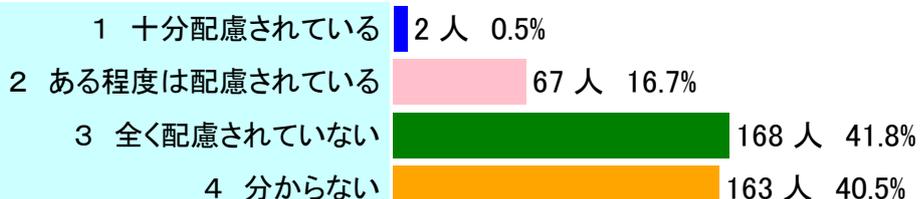
(問5-4) 交通分野(鉄道、バスなど)



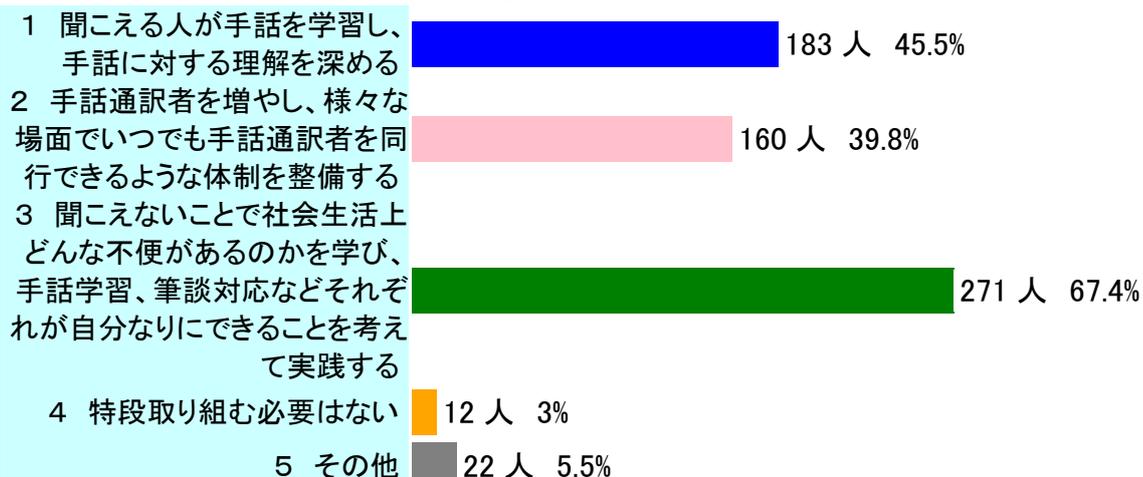
(問5-5) あなたの職場



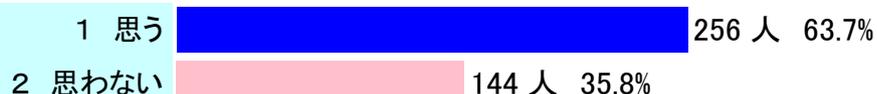
(問5-6) あなたの住む地域(集落・家の近所)



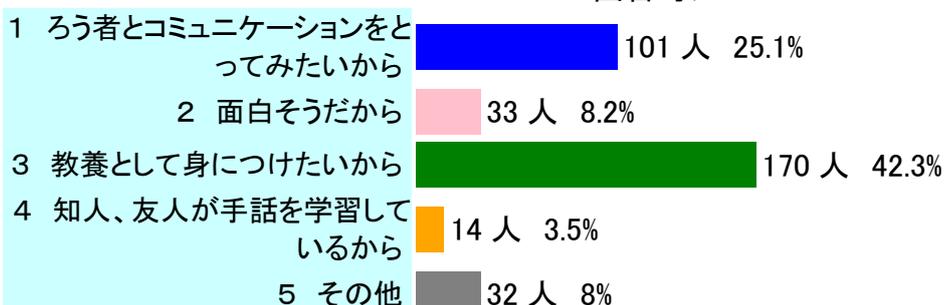
(問6)ろう者が不自由なく社会生活を送るために、どういったことに取り組む必要があると思いますか。〈複数回答可〉



(問7)手話を学習してみたいと思いますか。



(問8-1)問7で「1 思う」と回答した方に質問です。手話を学習したい理由は何ですか。〈複数回答可〉



(問8-2)問7で「2 思わない」と回答した方に質問です。その理由は何ですか。〈複数回答可〉

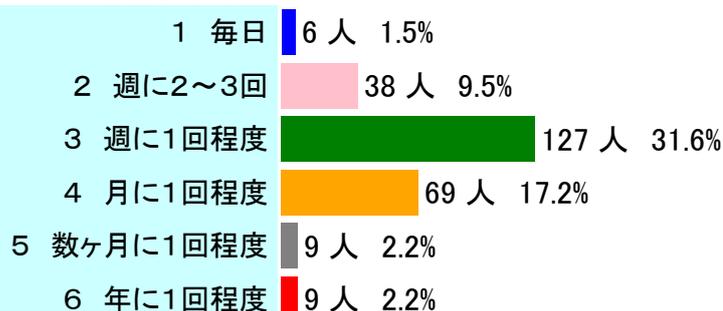


(問9)手話を学習する場合、目標とする習熟度はどのレベルですか。

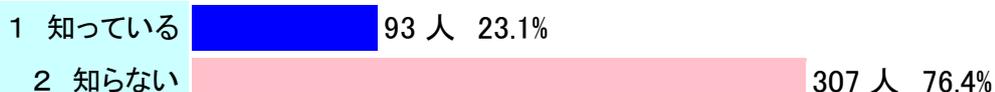


(問10)どのくらいの頻度で学習したいと思いますか。

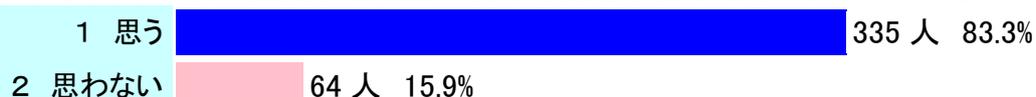
(※研修会、手話サークル等の参加だけでなく、自宅学習も含まれます。)



(問11)小・中学校及び高等学校に在籍する全ての児童生徒に「手話ハンドブック(入門編)」が配られたことを知っていますか。



(問12)小・中学校及び高等学校に在籍する児童生徒は手話を学習した方がよいと思いますか。



(問13)小・中学校及び高等学校に在籍する児童生徒に期待する手話の習熟度レベルはどのレベルですか。

